

Manda Coal Mine's Topics

万田坑 D-K 2013

☎ 万田坑ステーション ☎ 57-9155



夜の万田坑が艶やかに光り輝く壮大なイベントをお届けします。D-K（デジタル掛け軸）とは、芸術家の長谷川章さんが創作したインスタレーションアートです。刻一刻と変化する光を掛け軸に見立てた建造物を使って和の心を表すアートとして世界中で実施されています。

- 日時 10月25日（金）～27日（日）
日没後～午後9時
 - 会場 万田坑
 - 入場料 無料
- ※駐車台数に限りがあるので、乗り合わせてお越しください。

万田坑フェスタ

☎ 万田坑ステーション ☎ 57-9155

「万田坑 D-K 2013」の最終日に万田坑フェスタを開催します。ステージイベントがメインの楽しいお祭りです。当日は、田川市のゆるキャラ「たがたん」も遊びに来ます！ぜひお越しください。

- 日時 10月27日（日）
午後1時～4時
 - 会場 万田坑
 - 内容 ステージイベント
 - 参加料 無料
- ※有料区域入場の場合は入場料が必要です。



三池×筑豊コラボ企画 たがわ記憶遺産展 in あらお

☎ 万田炭鉱館 ☎ 64-1300



▲山本作兵衛作「舟頭と陸蒸気」

万田坑の竪坑櫓の技術者が田川の伊田竪坑櫓の工事に関わるなど、石炭を通して交流の歴史があることから、田川市石炭・歴史博物館とのコラボ企画展が実現しました。

田川市が誇る世界記憶遺産「山本作兵衛の絵画」（レプリカ）をぜひご覧ください。

- 開催期間 10月8日（火）～11月4日（月）
- 場所 万田炭鉱館 中央ホール
- 入場料 無料

放送大学「どこでも生涯学習事業」

公開講演会「世界遺産をめざして！三池炭鉱・万田坑の果たした役割と産業遺産としての価値」

近代化産業遺産である「万田坑」を身近に感じてもらうための講演会を開催します。入場無料で誰でも参加できますので、ぜひお越しください。

- 日時 11月2日（土）
午後1時30分～午後4時30分
- 場所 文化センター 小ホール
- テーマと講師

- ①「市民が育てる世界遺産、世界遺産が育てる市民～九州・山口の近代化産業遺産群を通じた世界遺産化の意義と課題～」
藤原恵洋さん（九州大学大学院教授）

- ②「万田坑の果たした役割と産業遺産としての価値」

- 幸田亮一さん（熊本学園大学商学部教授）
 - 申込期限 10月30日（水）
 - 申込方法 電話・FAX・Eメール
- ※当日の午前中（10時30分～11時30分）に万田坑で現地見学会（先着30人・要予約）を予定しています。

【申・問】放送大学熊本学習センター ☎ 096-341-0860
FAX 096-341-0870 Eメール：sc-kuma@ouj.ac.jp
【申・問】生涯学習課 ☎ 57-8125 FAX 62-1218
Eメール：ksyakyo@city.arao.lg.jp

中国駐日大使が荒尾市を初訪問！



▲生家の梅の木の前での記念撮影。迎市議会議長、程大使、前畑市長、李駐福岡総領事、丸山教育長、安田所長（左から）

9月7日、程永華大使や李天然駐福岡総領事などの中国政関係者5人が宮崎兄弟の生家施設を訪れました。歴代の中国駐日大使が荒尾を訪問するのは初めての事です。

一行は前畑市長の案内で孫文が二度滞在した生家や孫文ゆかりの梅の木などを視察しました。隣接する資料館で孫文と宮崎兄弟が交した書簡などを見学した程大使は、色紙に「継往開来」と記し、「孫文は宮崎滔天をはじめ日本の友人に支えられた。日中両国は難しい状況にあるが、先人の精神を受け継ぎ、困難を乗り越えて未来に向かいたい」と感想を話しました。

中国大使館との交流は、辛亥革命100周年と日中国交正常化40周年を記念して始まりました。平成24年2月28日に生家の庭にある梅の木を接ぎ木した苗「中山梅（友情の梅）」を大使館に植樹したことがきっかけとなっています。この梅の木は100年ほど前、中国辛亥革命の先導者・孫文が宮崎家を訪問した時から現存し、先人の友情を今に伝えています。

これからも荒尾市は、宮崎兄弟と孫文の友情の歴史を礎に中国との交流を推進していきます。



▲孫文が訪れた生家の部屋で、前畑市長らと意見交換を行う程大使と李駐福岡総領事（右奥から）



▲安田所長（右）から説明を受け、孫文の直筆の書に見入る程大使（左）



▲中国駐日大使館（東京）で行われた記念植樹。前畑市長・宮崎路冬さん（滔天の孫）、野田毅日中協会会長・宮崎黄石さん（滔天のひ孫）・程大使（左から）



▲大正2年（1913年）の孫文訪問時に宮崎家で撮影された写真。中央後ろの木が現存する梅の木。

今後の中国との友好交流 ～先人の友情の歴史を後世へ～



▲史料展の行われる上海孫中山故居記念館

◆「推心置腹－孫文と日本友人宮崎滔天文物史料展」

延期になっていた上海孫中山故居記念館での史料展を今年度中に開催できるよう準備を進めています。「推心置腹」とは孫文が滔天に贈った言葉で「互いに理解し合う友人」という意味が込められています。

◆ 駐福岡総領事館との友好交流事業「日中友好の集い」

荒尾市日中友好促進会議主催で、11月23日（土）に総領事の講演と館員の皆さんとの交流会を市内で行います。

※イベントの詳細が決まり次第、広報紙などでお知らせします。